



Light Up Rotary

第2780地区
大磯ロータリークラブ



2014～2015年度RI会長
ゲイリー・C. K. ホアン

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 守屋 紀忠

会長エレクト 河本 親秀

幹事 井上 浩吉

第2313回 例会 平成27年1月29日 (晴) No.27

■司会：大藤 勉

■点鐘：守屋 紀忠

■合唱：それこそロータリー

◇プログラム ・2月5日：フォーラム、理事会 ・2月7日：第8 G I M ・2月18日：井上 浩吉さん

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率
2313回	18(16)	9	56.25%	—	—
2311回	18	10	55.56%	—	—

◇欠席者(7名) 小林、宮澤、石山、太田、鈴木、原、野田さん

◇メークアップ(0名)

◇おめでとうございます

誕生日祝：

新宅文雄さん(1/29)

本日をもって78歳になりました。78歳まで生きてきて何が良かったかなと思いますと、その時その時良い人に出会った事。これが私の財産だと思っています。何かある時に素晴らしい方と出会いがあって、色々指導頂いたり、楽しくさせて頂いたりしましたので…。78歳の誕生日を迎えて、「何か」など言えばそういう事かなと思います。有り難うございました。



◇出席報告：田中敏治さん

◇大藤勉 S A A :

今日の食事はサラダ、フカヒレ餃子、高菜と豚挽肉炒飯です



◇会長報告

守屋会長が途中退出となるので会長命により代理を務めます。久しぶりの会長報告となりました。

百瀬恵美子会長代理



今日は例会前に大磯警察署から宮治泰三生活安全課長とNPO法人神奈川被害者支援センターの渡邊克彦さんが来られてお話(後記)があり、約8分遅れで例会をスタートしました。

1. 伊勢原平成RCが創立25周年記念事業として由紀さおり・安田祥子ファミリーコンサートを伊勢原市民文化会館で開催され、参加を呼びかけてられています。3月7日(土)、14時30分開演、全席指定、¥5,800です。
2. 藤沢市内8クラブによるロータリーウォーキング

大会のお誘いが来ています。

◇幹事報告

井上 浩吉幹事

1. 2月のロータリーレート：118円
2. 平塚西RCより2月4日(水)ゲスト卓話案内：「日本料理つきぢ田村」の田村隆さん
3. 配付資料；会報2312回、ロータリーの友、ガバナー月信(野田さん新会員紹介掲載)



◇委員会報告

☆スマイルボックス

笹尾 政儀さん

- ・守屋紀忠さん：笹尾さん卓話よろしくお願ひします。新宅さんお誕生日おめでとうござひます。
- ・河本親秀さん：笹尾さん卓話楽しみにしてひます。日おめでとうござひます。
- ・笹尾政儀さん：新宅さん誕生祝を祝ひます
- ・百瀬恵美子さん：笹尾さん卓話たのしみです。新宅さん誕生日おめでとう
- ・新宅文雄さん：笹尾さん卓話よろしく願ひます。黒酢えがお有難うござひました。1/29は新宅の誕生日です。78歳になりました。
- ・田中敏治さん：笹尾さん卓話宜しくお願ひ致ひます。新宅さんお誕生日おめでとうござひます。

☆新宅文雄さん：駅前のステパノ学園が昭和25年に建てた校舎(ベニア板囲いの教室)が雨漏り寸前に老朽化して、体育館と共に建て替えるのに5億円掛かるそうです。資金的に無理なので工事を2期に分けてやるそうです。2億5千万のうち1億は自前で、1億2千万は学校共済会から借り入れる。後3千万円は寄付で集めたいとのこと。借入金返済の目途も立って昨年の9月に開始。各種団体、個人にお願ひして寄付もだいぶ集まってきてひるそうです。「海に見えるホール」建設にロータリーは寄付してひませんが、パイプオルガン設置の時に4万円寄付してひます。小川理事長は今回子供達の教室を再建致ひますので幾何かの志を=クラブとしても個人としても=頂ければ有り難い言っておられます。宜しくお願ひ致ひます。

◇卓話

◆◆◆大磯ロータリークラブの

発展を願って◆◆◆

笹尾 政儀さん



ロータリークラブの発展繁栄は、まず地元町民にクラブがどのようなクラブか良く知って頂き、理解して頂き、協力して頂くことが肝要かと存じます。ロータリークラブがどのようなクラブなのか知らない町の人が多いと思ひます。

大磯なぎさの祭典にて配布の団扇の活用

ロータリークラブを知って頂くために毎年大磯の夏の清涼大会に配ってひる団扇。現在団扇の片側には

「ダメ。ゼッタイ」

麻薬・覚醒剤・大麻・シンナーの乱用をなくそう

大磯ロータリークラブ

とありますが、これではロータリークラブというのは麻薬撲滅運動団体と誤解されてしまひう。

片側には「大磯ロータリークラブは地区社会に、又世界平和に奉仕の精神を以て大磯町に誕生して四十八年の歳月を迎えました。そしてその四十八年間に地域社会に数々に尽くした(貢献の内容は後記)。そして更に充実した活性化を図って町のために貢献を継続して行きたいと願望してひますが、現在の会員数では限界がござひます。地域の方々のご入会頂き、ロータリークラブのご支援、ご協力を切に願ってひります。何卒ロータリークラブをご理解頂き、皆様とご一緒に大磯町の発展と繁栄にご参加頂きまことを心待ちしてひります。

どうぞご一報をお願ひ申し上げます。只今ロータリークラブの増強委員長は皆様も良くご存じの井上蒲鉾店社長井上浩吉さんです。

Tel : 61-0131番は営業所です。

というような文言を入れるべきではないか？

過去四十八年間に町に尽くした資金は多額で、クラブ財政が大変豊であったと思われます。現在は何か社会事業に関しての費用はというとスマイル資金を活用しておりますが僅かな金額になってきたように思われます。

過去大磯町に貢献した奉仕の内容の例：

- ・ 青少年育成：小中学校図書、ボーイスカウト、ガールスカウト、
- ・ 社会福祉：エリザベスサンダースホーム、ベタニア・ホーム、老人会
- ・ 大磯駅前便所の設置
- ・ 大磯町体育協会(剣道、柔道、空手)後援
- ・ 大磯町の19寺院や文化財の説明看板の設置、文化財地図の作成
- ・ 花一杯運動：小学校、幼稚園、保育園に花の種五千袋、町民にサザンカの苗5百本を大磯駅前にて配布
- ・ 大磯サザンカまつりに会員からの拠出物品でバザー一店。収益金を大磯町に寄付
- ・ 大磯町消防署に救急車内装設備寄贈
- ・ 大磯駅前防犯街灯設置
- ・ 図書館にレーザー・ビジョン、音響設備一式寄贈
- ・ 大磯町制100周年記念に図書費100万円寄贈
- ・ 大磯町姉妹都市協会高校生海外派遣に50万円寄付
- ・ 大磯町2中学校に救急救命訓練用キット80体寄贈

等々四十八年間大磯町に尽くしてきた実績をもっと知って貰うべく団扇を活用すべきである。

編集者より：

大磯ロータリー創立1967年から2007年の40年間(40期間)に寄付した額は：

大磯町関係： 2,921万円
ロータリー財団寄付：1,898万円
米山記念奨学会： 1,451万円
その他： 991万円
合計： 7,263万円

第41期から48期は後日集計します

笹尾さんが年度別にリストアップされた奉仕・寄付リストは後日作成配布します。

大磯警察署生活安全課長宮治泰三氏のご紹介で N P O 法人神奈川被害者支援センター・

ファンドレイザー・犯罪被害相談員の田邊克彦氏が来訪。犯罪被害者の支援活動の広報に来られ、例会開始前の一時お話を伺いました。



ゲスト：

大磯警察署生活安全課長・宮治泰三氏より先日の振り込め詐欺防止キャンペーン用ラベル作成についての協力に深甚なる感謝の言葉があり、田邊氏の紹介がありました。

渡邊克彦氏の話：



配布資料：

1. N P O 法人神奈川被害者支援センター紹介リーフレット
2. 活動報告書：ハートメッセージ
3. 支援協力方法説明書：
 - 1) ホンデリング(不要書籍の寄贈)

2) 支援協賛自動販売機の設置

当支援センターが担当している犯罪被害は身体犯(強盗、殺人、強姦、強制わいせつ、人身売買等)で、最近増えているのが死亡事故や交通事故の後遺症を抱えた人たち本人、ご遺族。そしてDNA鑑定の技術が進んできたので、強姦の犯罪者(重犯者が多い)が捕まった時の何年も前の余罪追求の裁判や検察庁の事情聴取の時の被害者への付き添いなどで、直接支援と言って付いて行ってあげる。強姦被害者の場合は男性の顔を見るだけで怖がってしまう。裁判になると証言しなければならない。そうになると二次被害=裁判で又恥ずかしいことを言わねばならない。その時は犯人と顔を合わせないように遮蔽するとか画像を介して行うとかします。検察庁、弁護士との相談などもすべて支援員が付いて行っております。被害者や遺族が一日でも早く元の生活に戻れるようにというのが私たちの仕事です。

組織的には神奈川県、県警、支援センターが三位一体となって支援します。そのサポートステーションが横浜西口の県民センター14Fにあります。

電話相談が原則ですが県警を通して被害者が困っているのでもろしくといった連絡があります。電話相談は専門的な訓練を受けたボランティアの相談員がうけます。初級、中級、上級の資格を持ったボランティアの方が50名くらいおります。年配の方が多いです。元大学教授、報道関係者、学校の先生等色々な方がおられます。

最近の電話の内容では犯罪にあった後、被害者として鬱々としておられ、警察にも届けられない方が結構多い。強姦の被害で警察に届けられた数の後ろにももの凄い数字があるのではとっております。男性の顔を見ただけで気を失ったり、職場に出勤できなくなったりする方が多くおられます。自分の身内にそのようなことが起こったらという想像をして頂ければと思います。

傾向として、派手派手しい女性、露出の多い女性、深夜しょっちゅう歩いている女性が被害に遭うとは全く限りません。今うちで扱っている強姦に遭われた女性の最高齢は83歳です。下の方は3歳、5歳の子供が被害に遭います。子供が被害を受けると子供だけではなく親御さんが凄いショックを受けてしまいます。

被害者というのは皆さんの想像以上に心が溶けてしまうと言うか、固まってしまうと言うか……。昨年磯子で児童を預けてお母さんが働きに行っていて、子供が殺された事件がありました。あの時お母さんがテレビのインタビューで答えました=淡々と答えていました=子供を殺されてあんなにアッケラカンと喋っているのはおかしいんじゃないかと思われた方が多いと思います。実際は違います。心が壊れてしまっているからなんです。あのような場合は警察がもっとカバーして上げた方が良かったのではと思われれます。今うちで支援に入っています。

10人のスタッフと50人のボランティアで対応しています。弁護士との相談の数は無料(県が支払う)で出来るようにしています。警察の担当者との打ち合わせ、検察庁への付き添い、検事との打ち合わせ。裁判時の証言、民事の流れの相談等弁護士さんを交えながら支援しています。

お家まで行って、裁判所まで付いて行ってあげる。駅で待ち合わせして付いて行ってあげる。男性でも女性でも被害に遭うとショックが大きくて、心が折れちゃってる、溶けちゃってる方が多い。その支援しているボランティアは手弁当で来て頂いています。支援旅費は実費支給、支援旅費実費の三分の一は県から補助がでます。一昨々年は280回の直接支援活動を行いました。一昨年は500回、昨年は700回くら

いまで行きました。自己負担の三分の二の費用は各所から浄財を頂き使っています。

- ・賛助会員会費:1口個人3千円、法人1万円・寄付金
- ・不要書籍の寄贈(5冊以上は送料無料)
- ・支援協賛自動販売機(1本売れると1~2円 が支援センターに入る仕組み)

犯罪がなくなれば良いのですが、まだまだ続きます。どうぞ皆様のご支援をお願い致します。

以上